

令和 7 年度外国人介護人材に関するアンケート調査 回答マニュアル

調査回答までの流れ……………	1 ページ
【参考】 回答例……………	5 ページ
【参考】 調査項目一覧……………	14 ページ

調査回答までの流れ

①

岩手県公式ホームページ <https://www.pref.iwate.jp/>



- ① 岩手県公式ホームページを開く。
- ② 「ページ番号検索」をクリック。



- ③ 半角数字7桁で「1084595」と入力し、「表示」をクリック。
→ 該当ページに移ります。



現在の位置: [トップページ](#) > [くらし・環境](#) > [福祉](#) > [介護人材](#) > 令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査

令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査

ページ番号1084595 更新日（公開日自動表示）

印刷 大きな文字で印刷

アンケート対象施設・事業所の皆様へ

これまで経済連携協定（EPA）に基づく外国人介護福祉士をはじめとして、在留資格「介護」の制度への介護職種の追加、特定技能制度の創設などにより、外国人介護人材の受入れが進められてきた。近年、技能実習制度等の在り方に関する議論が行われ、新たな制度創設に向けた関係法の改正が行われている。

こうしたことから、県では、県内の介護施設等における外国人介護人材の状況や受入れに関するアンケート調査を実施しますので、お忙しいところとは存じますが、調査への御協力をお願いいたします。

④ なお、今回の調査は「岩手県電子申請・届出サービス」を活用した調査となります。下記リンクから御回答ください。

➡ [令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査\(岩手県電子申請・届出サービス\)\(外部リンク\)](#)

調査対象事業所

くらし・環境

福祉

介護人材

- ✓ 令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査
- > 【随時募集中】令和7年度介護人材新規参入促進事業(個人向け)

確保事業費補助金の事前協議について

> 介護の仕事の魅力発信！

> 介護職員の働きやすい職場づくり

④ リンクをクリック。
→ 岩手県電子申請・届出サービスのページに移ります。



岩手県 電子申請・届出サービス

手続き検索 申請状況確認 職責署名検証 ヘルプ よくある質問 ログイン

手続き申込

[ホーム](#) > [申込](#)

申込

選択中の手続き名: 令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査 問合せ先 [+開く](#)

説明 県内の介護事業所における外国人介護人材の状況や受入れに関する課題等を把握するため、令和7年5月末時点における貴事業所の状況について、御回答くださるようお願いいたします。
なお、調査結果は、個々の事業所名を伏せた状態でホームページ等で公表する予定としておりますので、御了承ください。

受付時期 2025年5月14日18時00分～2025年6月4日23時59分

施設種別 **必須**

- ☐ 1. 介護老人福祉施設
- ☐ 2. 地域密着型介護老人福祉施設
- ☐ 3. 介護老人保健施設
- ☐ 4. 認知症対応型共同生活介護事業所
- ☐ 5. 養護老人ホーム
- ☐ 6. 訪問介護
- ☐ 7. 訪問入浴介護

以下に調査の設問が続きますので、下にスクロールいただき回答ください。
※ 本マニュアル5ページ以降に調査の回答例を掲載しておりますので参照ください。

手続き申込

[ホーム](#) > [オンライン申請手続き](#) > [申込](#) > [申込確認](#)

申込確認

まだ申込みは完了していません。

※下記内容でよろしければ「申込む」ボタンを、修正する場合は「入力へ戻る」ボタンを
令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査（テスト用）

施設種別	1. 介護老人福祉施設
施設名	特別養護老人ホーム〇〇〇
所在市町村	盛岡市
連絡先（電話番号）※ハイフン不要	0196295444
連絡先（メールアドレス）	kaigo-jinzai@pref.iwate.jp
担当者名	長寿 太郎

令和7年5月末時点における貴施設の状況について、以下の設問により御回答願います。

【問1】

< 入力へ戻る
申込む >

設問すべての回答入力が完了すると、申込確認画面に移るので、今一度回答内容を確認の上、問題等なければ「申込む」をクリック。
※ 一度申し込むと回答内容を修正できませんので御注意ください。

⚠ 入力不備の項目があります。（詳細な内容は、各項目をご参照ください。）

施設種別 必須

⚠ 施設種別は入力必須項目です。

- ☐ 1. 介護老人福祉施設
- ☐ 2. 地域密着型介護老人福祉施設
- ☐ 3. 介護老人保健施設
- ☐ 4. 認知症対応型共同生活介護事業所
- ☐ 5. 養護老人ホーム
- ☐ 6. 訪問介護
- ☐ 7. 訪問入浴介護
- ☐ 8. 通所介護
- ☐ 9. 通所リハビリテーション
- ☐ 10. 短期入所生活介護
- ☐ 11. 短期入所療養介護
- ☐ 12. 特定施設入居者生活介護

選択解除

回答内容に不備があると、画像のようにエラーが表示されるので、必ずすべての不備を解消した上で、回答完了としてください。

手続き申込

[ホーム](#) > [オンライン申請手続き](#) > [申込](#) > [申込確認](#) > [申込完了](#)

申込完了

申込が完了しました。
御協力いただきありがとうございました。

< 一覧へ戻る

【岩手県長寿社会課】申込完了通知メール

差出人 : pref-iwate@test.e-tumo.jp
宛先 : kaigo-jinzai@pref.iwate.jp
CC :
日時 : 2025年05月13日(火) 11:54

岩手県 電子申請・届出サービス（テスト環境）

申込が完了しました。
御協力いただきありがとうございました。

(1) 手続き名 : 令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査
(2) 問合せ先 : 岩手県保健福祉部長寿社会課 介護人材確保担当
(3) 電話番号 : 019-629-5444
(4) FAX番号 : 019-629-5439
(5) メールアドレス : kaigo-jinzai@pref.iwate.jp

回答が完了すると、調査内で入力したメールアドレスあてに【申込完了通知メール】が届きます。

前述のとおり、一度回答が完了すると回答内容を修正できません。

回答完了後に修正する必要が発生した場合は、お手数ですが下記まで御連絡願います。

【連絡先】岩手県保健福祉部 長寿社会課 介護人材確保担当

TEL : 019-629-5444 E-mail : kaigo-jinzai@pref.iwate.jp

手続き申込

[ホーム](#) > [オンライン申請手続き](#) > [申込](#)

申込

選択中の手続き名： 令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査（テスト用）

問合せ先 [+ 開く](#)

説明

本県の高齢者福祉・介護保険施策の推進につきましては、日頃より格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、これまで経済連携協定（EPA）に基づく外国人介護福祉士をはじめとして、在留資格「介護」の創設や外国人技能実習制度への介護職種の追加、特定技能制度の創設などにより、外国人介護人材の受入れが進められており、近年では、育成就労制度の創設に係る法改正や、訪問系サービスの業務への従事が認められるなど、さらなる受入れ・活用に向けた仕組み作りが行われているところです。
県では、県内の介護施設等における外国人介護人材の状況や受入れに関する課題等を把握するため、毎年アンケート調査を実施しております。
つきましては、令和7年5月末時点における貴事業所の状況について、下記により御回答くださるようお願いいたします。
なお、調査結果は、個々の事業所名を伏せた状態でホームページ等で公表する予定としておりますので、御了承ください。

受付時期

2025年5月13日11時30分～2025年6月30日23時59分

施設種別 必須

- ☒ 1. 介護老人福祉施設
- ☐ 2. 地域密着型介護老人福祉施設
- ☐ 3. 介護老人保健施設
- ☐ 4. 認知症対応型共同生活介護事業所
- ☐ 5. 養護老人ホーム
- ☐ 6. 訪問介護
- ☐ 7. 訪問入浴介護
- ☐ 8. 通所介護
- ☐ 9. 通所リハビリテーション
- ☐ 10. 短期入所生活介護
- ☐ 11. 短期入所療養介護
- ☐ 12. 特定施設入居者生活介護

[選択解除](#)

施設名 必須

特別養護老人ホーム〇〇〇

所在市町村 必須

盛岡市

連絡先（電話番号） ※ハイフン不要 必須

電話番号

0196295444

連絡先（メールアドレス） 必須

メールアドレス

kaigo-jinzai@pref.iwate.jp

担当者名 必須

氏：

長寿

名：

太郎

令和7年5月末時点における貴施設の状況について、以下の設問により御回答願います。

【問1】 必須

貴事業所では、外国人介護人材（外国人介護福祉士、在留資格「介護」、外国人技能実習生等）の方を受け入れていますか。

- ☒ 1. 受け入れている（→問2へ）
- ☐ 2. 過去に受け入れていたが、今は受け入れていない（→問8へ）
- ☐ 3. これまで受け入れたことはない（→問15へ）

- ・ 2を選択すると自動的に問8が次の項目に来ます。（問3～7は回答不要なので非表示となります。）
- ・ 3を選択すると自動的に問15が次の項目に来ます。（問3～14は回答不要なので非表示となります。）

選択解除

【問2】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

貴事業所には、何名の外国人介護人材がいますか。

5

名

【問3】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

その内訳を在留資格ごとに教えてください。

※1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

- ☐ 1. 経済連携協定（EPA）

☐ 2. 在留資格「介護」

☒ 3. 外国人技能実習生

問3での人数の合計と問2の人数は一致させてください。

ベトナム1人、フィリピン1人

☐ 4. 特定技能（介護）

☒ 5. その他（永住者・日本人の配偶者等・留学・その他）

留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

【問4】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

問3でお答えいただいた方のうち、**介護福祉士資格を取得済み**の方の人数を教えてください。

※1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。いない場合は「なし」を選択ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 日本人の配偶者等：インドネシア1人

※3 「在留資格「介護」」を選択した場合は、「人数」と「国籍」の回答は不要です（問3の回答と同数であるため）。

☐ 1. 経済連携協定（EPA）

☐ 2. 在留資格「介護」

☒ 3. 外国人技能実習生

ベトナム1人、フィリピン1人

☐ 4. 特定技能（介護）

☒ 5. その他（永住者・日本人の配偶者等・留学・その他）

日本人の配偶者等：インドネシア1人

☐ 6. なし

【問5】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

直近1年間に採用した外国人介護人材はいますか。

☒ 1. いる（→問6へ）

☐ 2. いない（→問8へ）

2を選択すると自動的に問8が次の項目にきます。
（問6～7は回答不要なので非表示となります。）

選択解除

【問6】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

何名の外国人介護人材を採用しましたか。

5

名

【問7】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

その内訳を在留資格ごとに教えてください。

※1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

☐ 1. 経済連携協定（EPA）

☐ 2. 在留資格「介護」

☒ 3. 外国人技能実習生

問7の人数の合計と問6の人数は一致させてください。

ベトナム1人、フィリピン1人

☐ 4. 特定技能（介護）

☒ 5. その他（永住者・日本人の配偶者等・留学・その他）

留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

【問8】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

直近1年間に貴事業所を離職した外国人介護人材はいいますか。

☒ 1. いる（→問9へ）

☐ 2. いない（→問12へ）

2を選択すると自動的に問12が次の項目に来ます。
（問8～11は回答不要なので非表示となります。）

選択解除

【問9】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

何名の外国人介護人材が離職しましたか。

5

名

【問10】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

その内訳を在留資格ごとに教えてください。

※ 1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※ 2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

☐ 1. 経済連携協定（EPA）

☐ 2. 在留資格「介護」

☒ 3. 外国人技能実習生

問10の人数の合計と問9の人数は一致させてください。

ベトナム1人、フィリピン1人

☐ 4. 特定技能（介護）

☒ 5. その他（永住者・日本人の配偶者等・留学・その他）

留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

【問11】 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

離職した理由を教えてください。（複数回答可）

※ 該当する理由を選択し、テキスト欄にその理由に当てはまる外国人介護人材の「人数」と「国籍」を記入ください。

例1) 介護職として県外の法人へ転職：ミャンマー1人

例2) その他：○○○のため、フィリピン1人 △△△のため、インドネシア1人

☐ 1. 技能実習満了による帰国・出国

☐ 2. 技能実習満了以外の理由による帰国・出国

☒ 3. 介護職として県外の法人へ転職

人数と国籍は問10と一致させてください

ミャンマー1人

☒ 4. 介護職として県内の法人へ転職

ベトナム1人

☐ 5. 介護職以外の他業種へ転職

☐ 6. 把握していない

☒ 7. その他（自由記述）

【問12】 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

外国人介護人材を受け入れる前にどのような準備を行いましたか。（複数回答可）

- ☒ 1. 日本人職員への説明
- ☐ 2. 利用者への説明
- ☒ 3. 住居の確保
- ☒ 4. 生活必需品の確保
- ☐ 5. 移動・通勤手段の確保
- ☒ 6. 業務マニュアルの作成
- ☐ 7. 業務内容の見直し
- ☐ 8. 指導員の選定
- ☐ 9. 受入れについての事業所内での協議
- ☐ 10. 受入れ国（文化・習慣等）についての勉強
- ☐ 11. その他（自由記述）

【問13】 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

外国人介護人材を受け入れた後にどのようなフォローを行っていますか。（複数回答可）

- ☒ 1. 日本人職員はゆっくり話すように心がけている
- ☐ 2. 介護業務の標準化（業務の進め方の統一）を図っている
- ☒ 3. 公的手続に同行するなどの支援を行っている
- ☐ 4. 定期的に体調確認を行っている
- ☒ 5. 日本語の勉強時間を設けている
- ☒ 6. 日本の文化や生活習慣について学んでもらう機会を設けている（地域行事や住民との交流）
- ☐ 7. 日本人職員が受入れ国（文化・習慣等）について学んでいる
- ☐ 8. 母国語を話す通訳等と話せる機会を設けている
- ☐ 9. その他（自由記述）

【問14】 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

外国人介護人材を受け入れたことで、良かったことや改善につながったことはありますか。（複数回答可）

- ☒ 1. 介護人材の不足が軽減・解消された

- ☐ 2. 国籍を問わず優秀な人材の確保が可能になった
- ☒ 3. 他の職員の意識が高まった
- ☐ 4. 異文化への理解が深まった
- ☒ 5. 職場の雰囲気が明るくなった
- ☐ 6. その他（自由記述）

【問15】 必須

外国人介護人材を雇用する上での問題・課題を教えてください。（複数回答可）

また、「様々なコストがかかる」を選択された場合、どのようなコストが特に負担であると感じるかについても教えてください（テキスト欄に記入ください）。

- ☒ 1. 日本語指導のノウハウ、ツールなどが不足している
- ☐ 2. 介護技術指導のノウハウ、ツールなどが不足している
- ☒ 3. 様々なコストがかかる

〇〇〇に要するコスト

- ☐ 4. 指導する職員の確保が難しい
- ☐ 5. 宿舎や通勤手段の準備が難しい
- ☒ 6. 制度や手続きがわかりにくい
- ☐ 7. 利用者等とのコミュニケーションに支障がある
- ☐ 8. 日本人職員とのコミュニケーションに支障がある
- ☒ 9. その他（自由記述）

〇〇〇が難しい。

【問16】 必須

今後の外国人介護人材の受入れへの意向を教えてください。

- ☒ 1. 積極的に受け入れたい
- ☐ 2. 条件が揃えば受け入れてもよい
- ☐ 3. あまり受け入れたいとは思わない
- ☐ 4. 受け入れたくない

選択解除

【問17】 必須

問16でお答えいただいた理由を教えてください。

○○○○○のため。

入力文字数：9/2000

【問18】 必須

岩手県が実施している外国人介護人材の受入れ等に関する以下の事業を知っていますか。知っている事業のみ選択してください。（複数回答可）

いずれも知らない場合は、「知らない」のみを選択してください。

- ☒ 1. 外国人留学生への奨学金支給に関する支援事業
- ☐ 2. 外国人介護人材受入施設等環境整備に関する支援事業
- ☒ 3. 外国人介護人材活躍促進セミナー
- ☒ 4. 外国人介護従事者指導職員向け研修
- ☐ 5. 知らない

【問19】 必須

外国人介護人材の受入れ・定着に関して、県に求めることを教えてください。（複数回答可）

- ☒ 1. 雇用に要する費用の補助
- ☒ 2. 外国人介護人材に対する日本語・介護技術に関する研修
- ☐ 3. 日本人職員に対する外国人介護人材への日本語指導・介護技術指導等に関する研修
- ☒ 4. 外国人介護人材とのマッチング支援
- ☐ 5. 外国人介護人材の受入れに関する制度・事例説明
- ☒ 6. 外国人介護人材同士の交流会
- ☐ 7. 海外現地でのPR活動等に対する支援
- ☐ 8. 業務外の活動（日常生活、コミュニティ参加等）に対する支援
- ☒ 9. その他（自由記述）

〇〇〇を対策してほしい。

調査は以上です。御協力いただきありがとうございました。

確認へ進む



入力中のデータを一時保存・読み込み

【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】

- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。
- ・システムに読み込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読み込めませんので、ご注意ください
- ・**入力中の申込データをパソコンに一時保存しますので、保存した申込データの取扱いは、申請者の責任において管理をお願いします。**

「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了しておりませんのでご注意ください。

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

 入力中のデータを保存する

 保存データの読み込み

【システム操作に関する】お問い合わせコールセンター

固定電話コールセンター

TEL:0120-464-119 (フリーダイヤル)

(平日 9:00~17:00 年末年始除く)

e-MAIL:help-shinsei-iwate@apply.e-tumo.jp

携帯電話コールセンター

TEL:0570-041-001 (有料)

(平日 9:00~17:00 年末年始除く)

制度等手続きの内容に関するお問い合わせは、
各課担当者へお願いいたします。

お問い合わせ

システム操作に関するお問い合わせ(各手続き内容に関するお問い合わせを除く)

固定電話 (コールセンター)	携帯電話 (コールセンター)
	
0120-464-119(フリーダイヤル)	0570-041-001(有料)
平日 9:00~17:00 年末年始を除く	平日 9:00~17:00 年末年始を除く

 メール (コールセンター)
help-shinsei-iwate@apply.e-tumo.jp

サポート

ヘルプ 

よくあるご質問 

配色変更

本サービスの配色を変更することができます。

標準

青

黄

黒

【参考】設問項目一覧

【留意事項】

本ページは、「岩手県電子申請・届出サービス」上で回答する前に、あらかじめ設問内容を確認しておきたい方向けに、参考として掲載しているものであります。

調査の回答は「岩手県電子申請・届出サービス」上からお願いしておりますので、本ページを使用しての回答は控えていただきますようお願いいたします。

令和7年度外国人介護人材に関するアンケート調査

○ 施設種別

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 介護老人福祉施設 | 2. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 3. 介護老人保健施設 | 4. 認知症対応型共同生活介護事業所 |
| 5. 養護老人ホーム | 6. 訪問介護 |
| 7. 訪問入浴介護 | 8. 通所介護 |
| 9. 通所リハビリテーション | 10. 短期入所生活介護 |
| 11. 短期入所療養介護 | 12. 特定施設入居者生活介護 |

- 施設名 ()
- 所在市町村 ()
- 連絡先（電話番号） ()
- 連絡先（メールアドレス） ()
- 担当者名 ()

令和7年5月末時点における貴施設の状況について、以下の設問により御回答願います。

【問1】貴事業所では、外国人介護人材（外国人介護福祉士、在留資格「介護」、外国人技能実習生等）の方を受け入れていますか。

1. 受け入れている（⇒問2へ）
2. 過去に受け入れていたが、今は受け入れていない（⇒問8へ）
3. これまで受け入れたことはない（⇒問15へ）

【問2】貴事業所には、何名の外国人介護人材がいますか。

() 名

【問3】その内訳を在留資格ごとに教えてください。

※1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

1. 経済連携協定（EPA） ()

- | | | |
|-------------|---|---|
| 2. 在留資格「介護」 | (|) |
| 3. 外国人技能実習生 | (|) |
| 4. 特定技能（介護） | (|) |
| 5. その他 | (|) |

【問4】問3でお答えいただいた方のうち、**介護福祉士資格を取得済み**の方の人数を教えてください。

※1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。いない場合は「なし」を選択ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 日本人の配偶者等：インドネシア1人

※3 「在留資格「介護」を選択した場合は、「人数」と「国籍」の回答は不要です（問3と同数であるため）。

- | | | |
|------------------|---|---|
| 1. 経済連携協定（E P A） | (|) |
| 2. 在留資格「介護」 | | |
| 3. 外国人技能実習生 | (|) |
| 4. 特定技能（介護） | (|) |
| 5. その他 | (|) |
| 6. なし | | |

【問5】直近1年間に**採用**した外国人介護人材はいますか。

1. いる（⇒問6へ）
2. いない（⇒問8へ）

【問6】何名の外国人介護人材を採用しましたか。

() 名

【問7】その内訳を在留資格ごとに教えてください。

※1 該当する在留資格を選択し、テキスト欄に「人数」と「国籍」を記入ください。

例) ベトナム1人、フィリピン1人

※2 「その他」を選択した場合は、テキスト欄に「人数」と「国籍」の他に、その他の具体的な内容として「永住者」「日本人の配偶者等」「留学」「その他」のいずれかを記入ください。

例) 留学：ミャンマー2人、日本人の配偶者等：インドネシア1人

- | | | |
|------------------|---|---|
| 1. 経済連携協定（E P A） | (|) |
| 2. 在留資格「介護」 | (|) |
| 3. 外国人技能実習生 | (|) |
| 4. 特定技能（介護） | (|) |
| 5. その他 | (|) |

1. いる (⇒問9へ)
2. いない (⇒問12へ)

() 名

例) ベトナム1人、フィリピン1人

1. 経済連携協定（E P A）（ ）

2. 在留資格「介護」（ ）

3. 外国人技能実習生（ ）

4. 特定技能（介護）（ ）

5. その他（ ）

1. 技能実習満了による帰国・出国	(	)
2. 技能実習満了以外の理由による帰国・出国	(	)
3. 介護職として県外の法人に転職	(	)
4. 介護職として県内の法人に転職	(	)
5. 介護職以外の他業種へ転職	(	)
6. 把握していない	(	)
7. その他（自由記述）	(	)

1. 日本人職員への説明
2. 利用者への説明
3. 住居の確保
4. 生活必需品の確保
5. 移動・通勤手段の確保
6. 業務マニュアルの作成
7. 業務内容の見直し
8. 指導員の選定
9. 受入れについての事業所内での協議
10. 受入れ国（文化・習慣等）についての勉強
11. その他（自由記述）

【問 13】外国人介護人材を受け入れた後にどのようなフォローを行っていますか。(複数回答可)

1. 日本人職員はゆっくり話すように心がけている
 2. 介護業務の標準化(業務の進め方の統一)を図っている
 3. 公的手続について、同行するなどの支援を行っている
 4. 定期的に体調確認を行っている
 5. 日本語の勉強時間を設けている
 6. 日本の文化や生活習慣について学んでもらう機会を設けている(地域行事や住民との交流)
 7. 日本人職員が受入れ国(文化・習慣等)について学んでいる
 8. 母国語を話す通訳等と話せる機会を設けている
 9. その他(自由記述)
- ()

【問 14】外国人介護人材を受け入れたことで、良かったことや改善につながったことはありますか。(複数回答可)

1. 介護人材の不足が軽減・解消された
 2. 国籍を問わず優秀な人材の確保が可能になった
 3. 他の職員の意識が高まった
 4. 異文化への理解が深まった
 5. 職場の雰囲気明るくなった
 6. その他(自由記述)
- ()

【問 15】外国人介護人材を雇用する上での問題・課題を教えてください。(複数回答可)

また、「様々なコストがかかる」を選択された場合、どのようなコストが特に負担であると感じるかについても教えてください(テキスト欄に記入ください)。

1. 日本語指導のノウハウ、ツールなどが不足している
 2. 介護技術指導のノウハウ、ツールなどが不足している
 3. 様々なコストがかかる ()
 4. 指導する職員の確保が難しい
 5. 宿舎や通勤手段の準備が難しい
 6. 制度・手続きがわかりにくい
 7. 利用者等とのコミュニケーションに支障がある
 8. 日本人職員とのコミュニケーションに支障がある
 9. その他(自由記述)
- ()

【問 16】今後の外国人介護人材の受入れへの意向を教えてください。

1. 積極的に受け入れたい
2. 条件がそろえば受け入れてもよい
3. あまり受け入れたいとは思わない
4. 受け入れたくない

【問 17】 問 16 でお答えいただいた理由を教えてください。

【問 18】 岩手県が実施している次の外国人介護人材の受入れ等に関する事業を知っていますか。知っている事業のみ選択してください。（複数回答可）

いずれも知らない場合は、「知らない」のみを選択してください。

1. 外国人留学生への奨学金支給に関する支援事業
2. 外国人介護人材受入施設等環境整備に関する支援事業
3. 外国人介護人材活用促進セミナー
4. 外国人介護従事者指導職員向け研修
5. 知らない

【問 19】 外国人介護人材の受入れ・定着に関して、県に求めることを教えてください。（複数回答可）

1. 雇用に要する費用の補助
2. 外国人介護人材に対する日本語・介護技術に関する研修
3. 日本人職員に対する外国人介護人材への日本語指導・介護技術指導等に関する研修
4. 外国人介護人材とのマッチング支援
5. 外国人介護人材受入れに関する制度・事例説明
6. 外国人介護人材同士の交流会
7. 海外現地でのPR活動等に対する支援
8. 業務外の活動（日常生活、コミュニティ参加等）に対する支援
9. その他（自由記述）

()

調査は以上です。御協力いただきありがとうございました。